東京の博物館めぐり-33 豊島区-2



平野 武宏

今回は豊島区の博物館めぐりの続きです。区内にある博物館(記念館・資料館・展示館等の総称とします)から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。入場料の記載なしは無料です。最寄り駅は代表例と出口です。右上の写真はJR池袋駅東口(中央)です。駅から正面に進み、東口五差路を横断、直進すると「サンシャインシティ」で、手前のグリーン大通りを進むと「豊島区役所」です。サンシャインシティ手前を左に行くと「ハレザ池袋地区」(旧豊島区役所跡地)です。

バーチャルウォーク「中山道六十九次」の途中経過も報告します。

[古代オリエント博物館] 豊島区東池袋 3-1-4

サンシャインシティ文化会館 7 階 最寄駅 JR 池袋駅東口

巣鴨刑務所(巣鴨拘置所・巣鴨プリズン)跡地の「サンシャインシティ」に建てられた「文化会館」の「階にあります。「サンシャイン 60 ビル」の南3入口から入ります。入って右折、文化会館ビルに入りエレベーターで上がります。「人類文明発祥の地 古代オリエント」について学びました。











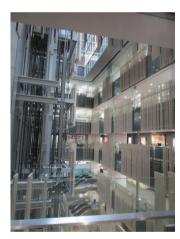


開館は 10 時~16 時 30 分。展示期間中は無休。次回の休館予定は 12 月 28 日~2021 年 1 月 3 日です。入館料は一般 600 円、大・高校生 500 円、中・小学生 200 円です。

[庁舎まるごとミュージアム] 豊島区南池袋 2-45-1 豊島区役所内 最寄駅 有楽町線 東池袋駅

東池袋1丁目にあった豊島区役所は老朽化に伴い、2015年(平成27年)5月7日 この地に地上49階、地下3階の高層ビルを建築、9階まで豊島区役所が使用、その他は民間のマンションとしました(写真下左)。全国で初の民間マンションとの一体型開発事業で設計には国立競技場の設計者の隈研吾さんも加わっています。このビルが建って寅次郎の自宅マンションから見える富士山は半分になってしまいました。







建物の真ん中がエレベーターで、回りの回廊が「庁舎まるごとミュージアム」になっています(写真上中・右)。その説明看板には「豊島区は、庁舎そのものが、あたかも「まち」であるかのように、楽しみながら、気楽に集うことのできる場にしたいと考えています。3階から9階までの事務室の回廊、屋上庭園「豊島の森」(写真下左)や4階、6階、8階の「グリーンテラス」などを利用して、ふるさと豊島の文化や歴史遺産、自然などを紹介するとともに、区ゆかりの美術工芸品や子どもの作品などを展示しています。また3階と10階(写真下右)には、豊島区が誇る日本最大規模のふくろうコレクションの一部を展示しています。これからも「まるごとミュージアム」にふさわしく、美術館・博物館のように美しい庁舎となるよう様々な企画をしてまいります。本日はご来庁ありがとうございました。ごゆっくりご覧ください」と記載。

豊島区役所本庁舎開庁時は開館、5階~9階は土日休館です。





3 階は都電、池袋モンパルナス、トキワ荘の漫画家たちの紹介、4 階は伝統工芸士の紹介、5 階は区美術家協会・区書道会の作品展示、6 階・7 階は写真展、8 階はフェスティバル/トウキョー20 の紹介、9 階は豊島区年表、史跡マップなど盛りだくさんです。作品は入れ替えがあるとのことです。

寅さん歩 269 官公庁の食堂めぐり-21 豊島区役所をご参照ください。

[豊島ふくろう・みみずく資料館] 豊島区南池袋 3-18-12 南池袋小学校内 最寄駅 都電荒川線 都電雑司が谷停留場

寅次郎、この場所には自宅のある大塚駅前から都電を利用して行くと混雑する JR池袋駅を経由しないで早く(13 分→7 分)、安く(136 円→0 円)行けます。 シルバーパス(都営交通機関・区内の路線バスが利用できる 70 歳以上のパス)の 活用です。日本では約 140 種以上の「ふくろう」の仲間で頭に角のような羽(羽角)が突き出した仲間を「みみずく」と呼んでいます。南池袋小学校がある雑司ヶ谷地区で江戸時代から作られ、鬼子母神の境内でお土産として売られてきた郷土玩具「すすきみみずく」があります。南池袋小学校の校章には「すすきみみずく」がデザインされています(写真下左)。



「豊島ふくろう・みみずく資料館」 は東(あずま)通りにある「南池袋 小学校」の校門を入り、左手にあり ます(写真下右)。

豊島区の形も「ふくろう」でした。 (写真下左)





資料館(運営は豊島区教育委員会)では故飯野徹雄氏(元東大名誉教授)、故松浦千誉氏(元拓殖大学教授)、故斉藤みね子氏(英国伯爵夫人)及び福井章二郎氏から寄贈されたコレクションの中からふくろう・みみずくの生活・イメージ・かたちの3つのテーマを中心に資料を選び、

各コーナー(写真下左・右)で紹介しています。





寅さん歩73 江戸・東京の祭-4 秋祭をご参照ください。

[こぼれ話] 池袋駅東口周辺

東口は 1971 年(昭和 46 年) 巣鴨刑務所(巣鴨監獄・巣鴨拘置所・巣鴨プリズン)があり、長く波乱にとんだ歴史に終止符を打つ、副都心計画を目指した「池袋駅東口の再開発事業」がスタートしました。巣鴨刑務所跡地の「サンシャイン シティ」は「サンシャイン 60 ビル」(写真下左)、「専門店街アルバ」、「プリンスホテル」、「ワールドインポートマートビル」、「文化会館ビル」の 5 つの建物と「東池袋中央公園」から成っています。「ワールドインポートマートビル」にはペンギンが空を飛ぶと話題の水族館やプラネタリウムがあります。巣鴨刑務所は戦後GHQに接収され、太平洋戦争の戦犯が収容されました。戦犯が処刑された場所(写真下右)には建物は立たず「東池袋中央公園」になっているそうです。

寅次郎、「サンシャイン 60 ビルは白い墓標に見え、60 とは処刑された戦犯の数(59 とも) だと言った人がいる」と聞いたことがあります。





東口(北)の旧豊島区役所跡地が「ハレザ池袋地区」として再開発されました。 写真下の写真での左の建物は「Hareza 池袋」(ハレザタワー・東宝シネマ)、中の建物は「東京建物 Brillia HALL」、右の建物は「としま区民センター」に生まれ変わりました。目の前にある「中池袋公園」もきれいになりました。



左の建物は「Hareza 池袋」

中の建物は「東京建物 Brillia HALL」

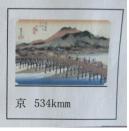
右の建物は「としま区民センター」

三つの建物は連絡通路で繋がっています。

[バーチャルウォーク途中報告]

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。 寅次郎、「中山道六十九次」に挑戦しました。7月7日、日本橋を出立し、11月24日、京都三条大橋(534km)に到着しました。厳しい峠越えの連続や大雨での川止めがありましたが、中山道のバーチャルウォークを楽しむことが出来ました。(写真は記録帖の一部です)







木曾海道六十九次は天保 6~8 年 (1835~1837 年) 頃、浮世 絵師渓斉英泉および歌川広重 により描かれた浮世絵木版画。 図版の表記は「街道」ではなく 「海道」なっています。



三条大橋では3日前に到着した八柳修之さんが出迎えてくれました。 八柳さん「中山道六十九次」にふさわしいお食事処「木曽路」を見つけてくれ ていました。早速、「木曽路」にてお互いの中山道完歩を称え合いました。 新型コロナウイルス感染拡大中なので、二人での静かなバーチャル祝賀会です。 次は同じ記録帖にある「日光道中二十一次」に挑戦します。バーチャルウォー クですので明日、お江戸日本橋を出立できます。

自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。歩く際は密閉・密集・密接の3密にならないようにご注意ください!

次回は 東京の博物館めぐり-34です。

平野 寅次郎 拝